

2023(令和5)年度第1回伊賀市地域公共交通活性化再生協議会
大山田地域部会 議事概要

- 開催日時 2023(令和5)年11月15日(水)
午後2時00分～午後3時47分
- 開催場所 大山田農村環境改善センター 2階 大会議室
- 出席者 (敬称略)

【委員】

- 出席：奥井 威夫 (阿波地域住民自治協議会 会長)
- 中川 博昭 (布引地域住民自治協議会 会長)
- 奥 千史 (山田地域住民自治協議会 会長)
- 福路 光宏 (阿波地区区長会 会長)
- 福井 敏雄 (布引地区区長部会 部会長)
- 東 健一 (山田地区区長会 会長)
- 福岡 正康 (大山田地区老人クラブ連合会 会長)
- 福平 悟 (大山田地区民生委員児童委員協議会 会長)
- 福地 申大 (伊賀市障害者福祉連盟大山田支部 支部長)
- 中森 研 (伊賀市社会福祉協議会地域支援課 課長
代理 末廣 紀子)
- 橋本 敏明 (伊賀市商工会大山田支所 支部長)

【事務局】

交通政策課：課長 井上 忠生、主査 中川 達司

- 傍聴者 4人

■会議概要

1. 開会 挨拶：交通政策課 井上 忠生課長

2. 協議事項

(1) 三重交通・阿波線について

事務局から資料1に基づき説明。委員から意見を聴取。

【質疑応答】

部委員	支所の職員の出席はどうなっているのか。行政バスの便数や時刻等の事を検討していく中で、この地域の事を考え、動いてもらえる人の出席がなかったため質問させていただく。 区長をしていた時、「どんぐり号」がどうなっているのかを見た。例えば、朝一番にお婆さんが中馬野からあずま診療所に行っ
-----	---

	<p>た時、診療所に着く時間が早すぎて、診療所が開くまで1時間程外で待たなければならないというのが一点。その後、診察が終わり帰ろうとした時、かなりの時間を待たなければ、帰る便がない。この点について、当時の支所長に「何故このような時間設定になっているのか」聞いたところ「どんぐり号は、子ども達の通学に使っていて、学校の始まる時間が決まっています、その時間に合わせているため変更出来ない」と言われた。時間帯については、当時のままだと思うが、地域の方が求めているニーズを考えた、時間帯を検討していただきたい。</p>
事務局	<p>支所の件に関しましては、本日は時間の都合が合わず欠席となっております。島ヶ原支所では、「島ヶ原ぐるり号」の協議の会議には、地域課題の検討というなかで支所の職員にも参加していただき、地域と我々を繋ぐ役割を持っていただいています。この地域部会へも支所の職員に参加していただきたいと考えています。次回からは、必ず出席してもらえようようにしたいと思います。</p> <p>ダイヤの件につきましては、あずま診療所へ行くのか、三重交通のバスに乗り継いで上野へ行くのか、アニーズに行くのかなど、バスを利用していただく方の目的は皆さんそれぞれ違います。すべての目的を満たすダイヤにすることは、非常に難しい問題になっています。このダイヤが出来た時から、世代は変わってきています。これから地域に入ってダイヤやルートなどを検討して行きたいと思っています。</p>
部委員	<p>P.2の計画で定めた見直しの判断基準の収支率、平均乗車人数などは、大山田における基準か。阿山など他地域の行政バスを導入している地域の基準とは違いがあるのか。</p>
事務局	<p>すべて同じ基準になっています。</p>
部委員	<p>先程、ダイヤやルートを見直すというお話があったが、今後どのようなスケジュールでその見直しを進めて行くのか。</p> <p>例えば、3月までに何かをするとか、その様な事はあるのか。</p>
事務局	<p>スケジュールについては、これからの話になってきます。</p> <p>島ヶ原のデマンドバスのように運行形態自体を変えるのか、国ではライドシェアなど色々な方策が出てきています。これから色々な仕組みが変わってくるなかで、ダイヤやルートを変えるのか、それとも運行形態自体を変えるのかを、地域の皆さんと相談しながら進めたいと思っています。その選択でスケジュールは変わってくると思います。</p> <p>阿山といがまちと大山田の3つの地域のなかの1つの地域で、来年には島ヶ原でしたような検討を、どこかの地域で始めたいと思っています。</p>

部委員	<p>三重交通の阿波線は、高校生の利用者が多く、夕方のもう少し遅い時間に走っていただけないかという話をよく聞く。部活動している学生は、部活動が終わってからバスに乗って帰れないので、親が車で迎えに行かなければならない。最終便が18時20分上野市駅発になっているが、19時以降にもう1本運行してもらえないのか。</p>
事務局	<p>この件については、再三、三重交通には伝えていますが。しかし、もともと遅い便があったが、乗ってもらっていないから無くした、という回答です。引続き三重交通へは要望を伝えて行きたいと思います。</p>
部委員	<p>阿波線のバスのサイズは非常に大きい、20人乗りぐらいの小型サイズのバスにした方が、経費は安くなるのではないかと。</p>
事務局	<p>朝の2便は、20人乗りでは乗りきれないぐらいの方が乗っているのが現実にあります。車両のサイズでどうした方が、経費が安くなるのかは、三重交通の考え方になると思います。</p>
部委員	<p>少数派の意見であるが、耳にしたので伝えさせていただく。</p> <p>阿波線が「さるびの温泉」に停まらなくなった、要支援ぐらいの方で温泉のデイサービスに行っている方が、デイサービス以外の日も温泉に行っていたが、バスが温泉に停まらなくなったので、温泉に行けなくなったという意見があった。</p> <p>そして、昼間の便が2本減ったことで、どんぐり号との乗り継ぎができなくなり、午前中に上野の病院へ行けなくなって困っているという意見があった。</p>
事務局	<p>温泉の停留所が無くなった話は、デイサービスの職員の方から事情は聞いています。この件については、すぐに三重交通へも伝えていきます。</p> <p>市としては、この温泉の停留所が無くなるということは、事前に知らされておらず、減便の内容や地域への対応など、事前によくよく三重交通と対話すべきであったと思っています。</p> <p>どんぐり号との乗り継ぎの件については、次の項で協議させていただきたいと考えています。</p>

【承認】

- (2) 大山田行政サービス巡回車の運行計画変更について
事務局から資料2に基づき説明。委員から意見を聴取。

【質疑応答】

部委員	この変更は、午前中に上野へ行くことができるようになったが、アニーズに買い物に行くことを考えると、9時20分前にアニーズに着き、帰る便が、14時20分になる。変更前よりも、買い物時間が長くなり1時間程度待つ時間が増えるということになると思うが。この辺はどうか。
事務局	このダイヤ変更については、事前に、運転手さんに今乗っていただいているお客さんの状況を聞かせていただいています。変更前の10時26分アニーズ前を目的とするお客さんがたくさんいるのであれば、今回の変更は難しいと思いましたが、今のところそういった目的で利用されているお客さんがいないということもあり、乗り継いで上野へ行かれる方の目的が通院であるため、運行時間を早くしても良いのではないのかと思い、ダイヤを検討しました。
部委員	大沢線、9時20分に大山田支所に着いてから、次にバスが動くのは、坂下線の11時54分の大山田支所発で、時間が非常に空いている、大沢線をもう1本運行することができるのではないかと。
事務局	労働基準法などの関係があり、運転手さんの休憩時間を確保することが厳密に決められています。2年後には、ますます厳しくなってきます。時間をあえて空けているため、もう1本運行することは難しいと思います。
部委員	どんぐり号の運賃200円の改定は考えられるのか。三重交通のバスが千戸のバス停に着き、学生がたくさん降りてくる。それと乗り継ぐために「どんぐり号」が三重交通のバスを待って出発している。しかし、学生は、誰も乗らず、大沢へ歩いていく。空でバスを走らせるのであれば、学割で半額にするなどして、運賃を安くすれば、学生も乗り、わずかでも収益になるのではないかと。
事務局	他の地域でも学生が通学するために特化したダイヤにならないかという要望をいただいております。そのダイヤの検討と一緒に、学生の割引等考えていきたいと思っています。
部委員	フリー乗降を導入したが、今の状況はどうか。
事務局	普段からバスを利用していただいている方は、フリー乗降をしていただいております。しかし、まだまだ周知が足りていないと思います。チラシの回覧などで周知させていただきます。
部委員	どんぐり号に関しては、地域の方々が、どういうルート、どういうダイヤが良いか、アンケートなどで聞き取る必要があると思う。

事務局	現在のダイヤは、山田診療所がある時のダイヤ編成になっているため、ダイヤ改正について考えていかななくてはならない時期に来ていると思います。
-----	--

【承認】

(3) 今後の地域公共交通について

○地域公共交通の現状について

事務局から資料3に基づき説明。委員から意見を聴取。

【質疑応答】

部委員	かんべ北斗号のことを、もう少し詳しく教えていただきたい。
事務局	地域運営で、年間150万円程度で運行しており、週2回、火曜と金曜の運行で、ルートが2つあり、川の西と東にわけ、下神戸を中心とした西ルート、柘川や上林を走る東ルートがあります。 目的地は、青山支所、青山のAコープ、コメリ、浅野整形と主にはこの4つとなっています。もともとは買い物目的に検討されているため、地域の方々が昼間にAコープへ行って買い物をし、帰ってくるという利用が多くなっています。
部委員	阿波の「まごのて号」はどうなっているのか。
部委員	コロナの関係でずっと中断している。今年度中に、話し合いが持たれ、再開などの協議が行われる予定になっている。
部委員	大沢の方は、佐那具のマックスバリュの買い物バスを利用されている。虹ヶ丘の方も、希望ヶ丘から出ているバスでマックスバリュへ行っているという話を聞いている。
事務局	NPO法人のゆいの里がマックスバリュの買い物バスを運行しており、一定の地区を回っています。現状は、運転手さんの高齢化が進んでおり、地区を増やせない状況ということを知っています。大山田地域は、贅沢を言わなければアニーズで食料品も買うことができ、診療所もあり、大山田地域の外に出なくても生活ができます。曜日で運行の地域を決め、買い物や診療所に行く便を設定するという方法もあります。例えば、月曜は、阿波、火曜は布引、水曜は山田地域など、バスの運行の曜日に合わせた生活に変えていただき、買い物や診療所に特化した運行に変えるということもひとつの方法です。このような見直しについては、これから地域の皆さんと一緒に考えて行きたいと思っています。

○島ヶ原地域デマンドバス導入報告

事務局から資料4-1、4-2に基づき説明。委員から意見を聴取。

【質疑応答】

部委員	運賃 200 円や 500 円など設定の根拠は。
事務局	<p>行政バスは、各支所管内の中を運行しており、市内すべて 200 円になっています。そのため島ヶ原地域内の運行は 200 円に設定しています。</p> <p>そして、島ヶ原地域には、アニーズやマックスバリュ、オークワのような地域の中で買い物ができるスーパーがなく、地域の外へ出ないといけないという特徴があります。</p> <p>島ヶ原地域から上野の市街地まで行くことは、バスや電車など他の公共交通機関があり、公共交通の競合性が問われ難しいが、なんとか小田町までは買い物目的で行けるように検討を行いました。そこで、支所管内を出る場合は、他の公共交通機関の路線バスやタクシーの料金を考え 500 円に設定しています。</p>
部委員	島ヶ原は、デマンドバスという名称になっていますが、インターネットで検索すると、桑名ではオンデマンドバスという名称になっているが、オンデマンドバスを検討しなかったのか。
事務局	デマンドバスもオンデマンドバスも名称は違いますが、内容は一緒です。デマンドバスといっても色々な種類があります。デマンドバスもオンデマンドバスも決まった時間に決まったルート走るのではなく、利用者の予約に応じて運行するバスのことです。

4. その他
特になし

(終 了)